

[05_02]情報処理教育広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/6767958>

出版情報：情報処理教育広報. 5 (2), 1983-01. Educational Center For Information Processing,
Kyushu University

バージョン：

権利関係：



次期システムの機種選定の経過と結果について

先の広報Vol. 5, No. 1で報告したように、情報処理教育センターのこれから先の負荷の増大に対処する機種に、特定メーカーにこだわらずに置き換えるということで、機種選定委員会が発足した。ここではその後の機種選定の経過と結果について報告する。

機種選定委員会（昭和57年3月11日の運営委員会で設置）の構成員は次の通りである。

委員長 上田教授（教養部・物理）

委員 大槻助教授（工学部中央計数施設），宇津宮助教授（工学部情報工学科），景川講師（大型計算機センター），藤村助教授（情報処理教育センター），荒牧助手（情報処理教育センター）

機種選定委員会の活動経過は概略次の通りである。

- 昭和57年3月17日 計算機システムに対する提案依頼
依頼状に次期システム要求仕様書（広報Vol. 5, No. 1参照）を付して下記の6社へ送付した。
日本電気，富士通，日立製作所，三菱電機，日本IBM，DECインターナショナル日本支社。
- 昭和57年5月15日 提案書提出〆切日，日本電気，富士通，日立製作所，三菱電機から提案。
- 昭和57年5月20日 第1回機種選定委員会，提出された計算機システムの検討と今後の予定を討議。
- 昭和57年6月3日 第2回機種選定委員会，次期システム提案説明会における確認・質問事項の打ち合わせ，各メーカーからの最終提案を6月30日とした。
- 昭和57年6月9日 富士通，日本電気の次期システム提案説明会。
- 昭和57年6月10日 三菱電機の次期システム提案説明会。
日立製作所も予定していたが，日程の都合で辞退。
- 昭和57年6月30日 最終提案〆切日。日本電気，富士通から提案。
- 昭和57年7月7日 第3回機種選定委員会，日本電気と富士通の提案システムを検討，ハードウェアはどちらも情報処理教育センターの運営に支障はないため，ソフトウェアの品質・性能を比較することになった。
- 昭和57年7月20日 第4回機種選定委員会，日本電気と富士通のソフトウェアの比較テストの結果をもとに討議した結果，主として初心者が使用する情報処理教育センターの特徴を考えると，富士通のソフトウェアの方が適しているとの結論を得た。
- 昭和57年8月4日 運営委員会において機種選定委員会の答申がなされ，情報処理教育センターの次期システムは富士通の提案システムとすることが決定された。

その後、学内措置として、文系地区に新しく情報処理教育センター端局が作られることになり、若干のシステム構成の変更が行われた。この変更は、昭和57年11月5日の運営委員会で承認された。その後、できるだけ利用者の希望に沿ったシステムを導入するために、授業担当教官懇談会やアンケートをふまえ、再調整が行われた。最終的に導入される次期システムの構成については本広報の「次期システムの紹介」をご覧頂きたい。

なお今回の機種選定に際しては各メーカーには多大の御迷惑をおかけした。また各機種選定委員には膨大な資料を検討して頂くなど貴重な時間を費して頂いた。ここに記して感謝したい。

(藤村 記)